

# 決算

## 令和4年度

令和4年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会12月定例会で承認されました。皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などが、どのように使われたのかをお知らせします。

問 市財政課 ☎0994-31-1126

### 1 一般会計歳入

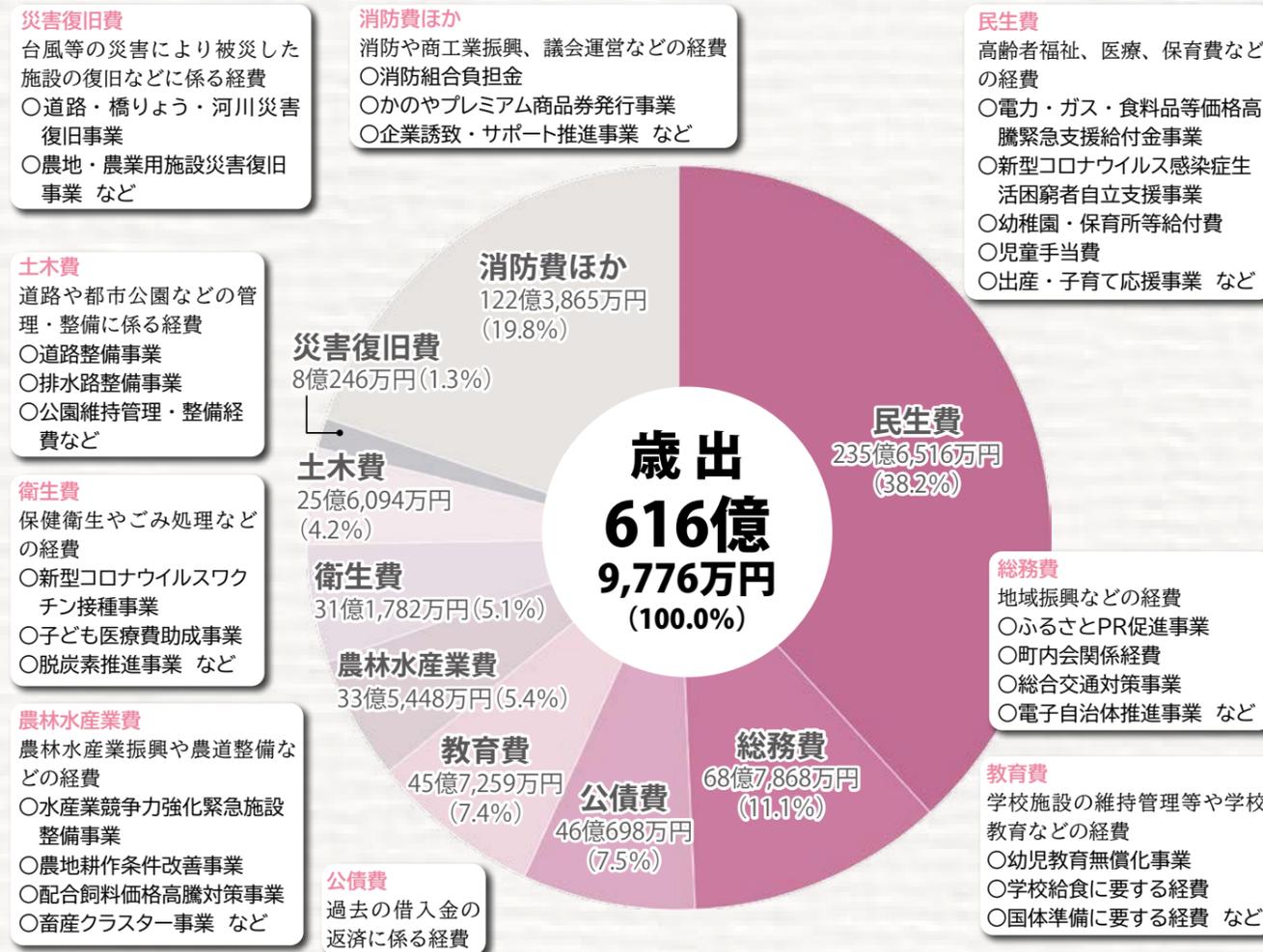
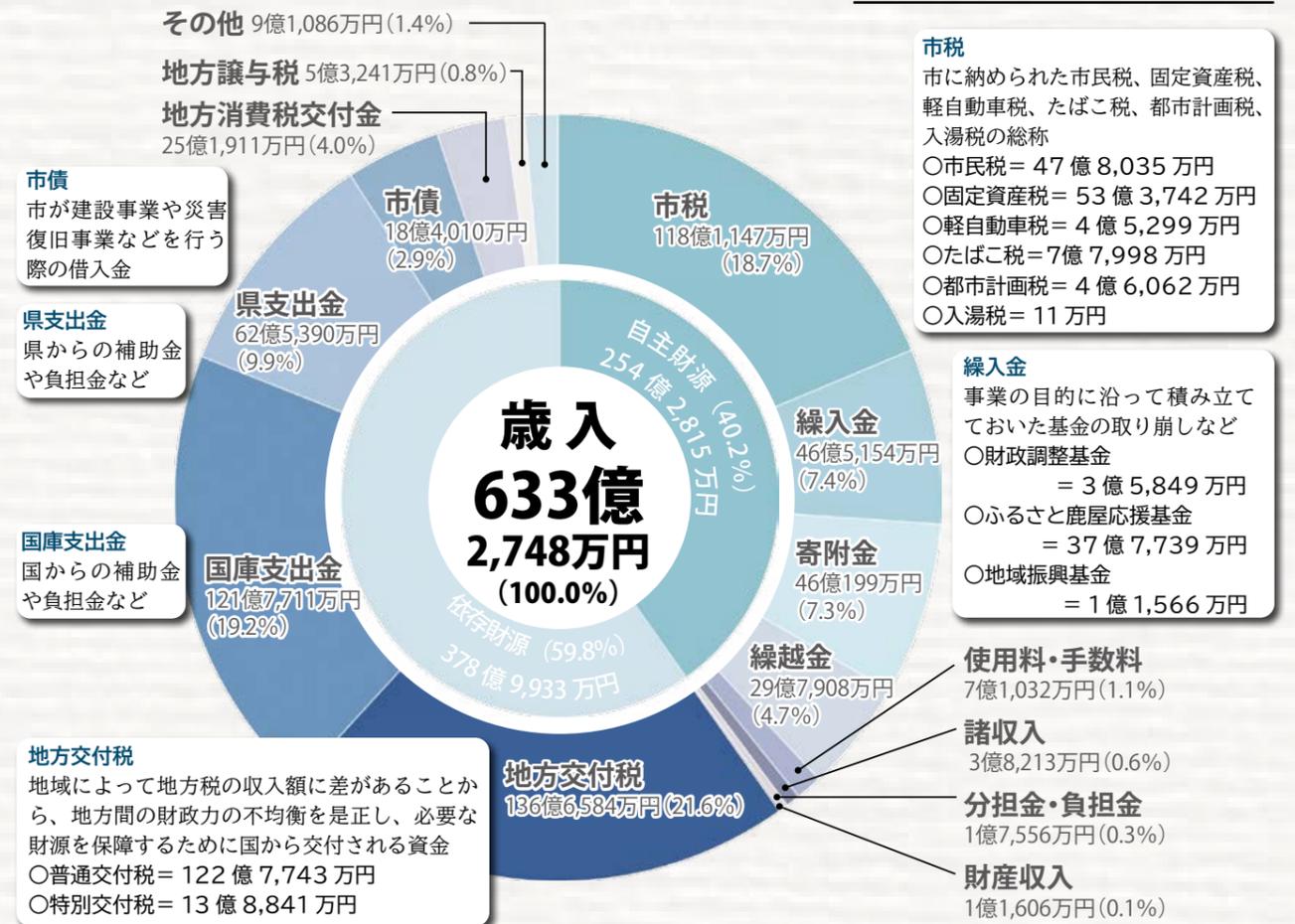
歳入は、市民税や固定資産税などの「市税」や法人事業税の一部を財源として県から交付される「法人事業税交付金」、本市を応援するため全国からいただいた「ふるさと鹿屋応援寄附金」などが増加しました。一方で、令和3年度に国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として実施した「子育て世帯への臨時特別給付金」や、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した人が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられる「住民税非課税世帯等臨時特別給付金」などの国庫支出金が減少となりました。

### 2 一般会計歳出

歳出は、コロナ禍における原油価格や物価高騰への対応として、「水道基本料金の半年間無償化」や「かのやプレミアム商品券発行事業」などによる市民生活支援のほか、「中小企業等電気料高騰対策支援事業」や「福祉施設等物価高騰対策事業」などの事業者支援に取り組みました。

また、「人口減少対策ビジョン」や「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」、「立地適正化計画」など、本市の未来を見据えた計画の策定をはじめ、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催に向けた気運の醸成なども実施しました。

このほか、妊娠・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する「出産・子育て応援事業」や、「全国和牛能力共進会鹿児島大会」に向けた出品対策の強化、本市の地元特産品のPRや知名度向上に向けたシティセールス活動を行った「ふるさとPR促進事業」、学校施設の老朽化対策やトイレの洋式化改修等を実施した「小学校施設大規模改修事業」などに取り組みました。



### 財政事情を家計簿に例えると...

市民の皆さんに市の財政事情を分かりやすく理解してもらうため、令和4年度の決算額を10万分の1にして、1家庭の1か月の家計簿に置き換えました

**収入** (内は市の収入科目)

- 給料(市税) 118,000円
- 家賃収入などの雑収入(寄附金、使用料、手数料など) 60,000円
- 預貯金の取り崩し(繰入金) 46,000円
- 前月収入の残り(繰越金) 30,000円
- 使い道の決められた親からの援助(国庫・県支出金) 185,000円
- 自由に使える親からの援助(地方交付税、譲与税など) 176,000円
- 家の増改築のための借り入れ(市債) 18,000円

**収入合計** 633,000円

**支出** (内は市の性質区分)

- 食費(人件費) 68,000円
- 医療・教育費(扶助費) 167,000円
- ローンの返済(公債費) 46,000円
- 家の増改築(普通建設事業費) 45,000円
- 自然災害での補修費(災害復旧事業費) 8,000円
- 光熱水費、日用雑貨(物件費) 91,000円
- 家や車の修繕費(維持補修費) 3,000円
- 町内会、サークル会費(補助費等) 57,000円
- 預貯金(積立金)、株式投資(投資及び出資金)、知人に貸したお金(貸付金) 85,000円
- 子どもへの仕送り(繰出金) 47,000円

**支出合計** 617,000円

